

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
人体の構造と機能13							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	2年	1期	齋藤 昭彦		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	人体の構造と機能			座学	1	10	
科目概要							
柔道整復師として対象者の運動機能を正しく評価・治療するための科目である。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	柔道整復師として対象者を正しく評価・治療ができるようになるために、人体の構造と機能のうち、運動学領域の知識を習得し、運動分析能力を身につける。						
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運動の表し方を理解し、対象者の運動を記載できる。 2. 運動力学の基礎を理解し、対象者の運動を考察することができる。 3. 運動器の構造と機能について理解し、説明することができる。 4. 神経の構造と機能について理解し、説明することができる。 5. 感覚や随意運動について理解し、説明することができる。 						
履修に必要な予備知識や技能							
解剖学、生理学の基本的な知識が必要となります。							
教科書・参考書							
運動学 改訂第3版 医歯薬出版							
受講上の注意							
予習・復習を大切にしてください。わからないことはその日のうちか、遅くともその週のうちに解決するようにしてください。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	運動学の目的、運動の表し方、身体運動と力学①(ベクトル)			p5-11	教科書・配布資料		
第2回	身体運動と力学②(モーメント、てこ)			p11-16	教科書・配布資料		
第3回	身体運動と力学③(運動の法則、運動量保存の法則、仕事と力学的エネルギーなど)			p17-21	教科書・配布資料		
第4回	運動器の構造と機能①(骨・関節の構造と機能)			p23-31	教科書・配布資料		
第5回	運動器の構造と機能②(骨格筋の構造と機能)			p32-39	教科書・配布資料		
第6回	神経の構造と機能①(神経細胞、神経線維、神経シナプス、末梢神経、脊髄)			p41-48	教科書・配布資料		
第7回	神経の構造と機能②(脳、錐体路と錐体外路)、運動感覚①(感覚の種類など)			p48-53	教科書・配布資料		
第8回	運動感覚②(筋紡錘、関節の感覚受容器、平衡感覚、反射随意運動①(反射、反射弓、反射の分類))			p53-59	教科書・配布資料		
第9回	反射と随意運動②(連合運動と共同運動、随意運動)			p64-68	教科書・配布資料		
第10回	定期試験						
実務経験と本講義との関連について							
理学療法士の臨床および理学療法教育に40年間携わった実績を踏まえ、運動学の重要ポイントについてわかりやすく説明する。							
メールアドレス							
a.saito-t@nihonisen.ac.jp							